



nichicon

NISSAN

2024年4月23日

亀岡市

ニチコン株式会社

日産自動車株式会社

京都日産自動車株式会社

亀岡市、ニチコン、日産自動車、 電気自動車とV2Hを活用し地域の脱炭素化と強靱化に向け共創

京都府亀岡市、ニチコン株式会社(子会社であるニチコン亀岡株式会社含む)と、日産自動車株式会社、および京都日産自動車株式会社の4者は、23日、電気自動車(EV)とV2H(Vehicle to Home)システムの普及を通じ、市内の脱炭素化と強靱化を図ることを目的とした連携協定を締結しました。

【協定の経緯・背景】

亀岡市は、「かめおか脱炭素宣言」を掲げ、2050年カーボンニュートラル達成に向けて、再生可能エネルギーの導入・利用を促進し、電力の地産地消などに積極的に取り組んでいます。また、「経済循環型ゼロカーボン亀岡」を目指す将来像として、恵まれた地域資源を活用した脱炭素社会の実現、そして地域循環共生圏のさらなる発展と亀岡ブランドの向上を目指しています。

ニチコンは、EVの電気を家へ給電するV2Hシステム「EVパワー・ステーション®」や、太陽光発電と連携させEVと家をつなぐ「トライブリッド蓄電システム®」によりZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及を推進しています。自立型エネルギーマネジメントシステムの構築とその普及によりエネルギーの自給自足による脱炭素社会実現を目指しています。

日産自動車は、これまで培ってきたEVに関するノウハウやネットワークを活かし、エネルギーマネジメント、サーキュラーエコノミー、サステナブルツーリズム、地域交通、次世代教育を通じ、脱炭素化、強靱化(災害対策)の実現により社会変革を促す、日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」を国内の販売会社と共に推進しています。EVの普及によるゼロ・エミッション社会構築を目指し、SDGsの達成や地域社会の発展に貢献するため、全国の自治体・企業の皆さまと連携しています。



ブルー・スイッチによる SDGs への貢献

【協定の概要と主な連携内容】

協定項目	具体的取組例
(1) EV/V2H の普及促進 	地域の脱炭素化促進に向けた取り組み ・公用車の電動化を促進 ・市内の EV 及び V2H 普及促進
(2) 啓発活動 	環境／防災教育における EV 活用 ・EV と V2H を活用し市民の環境／防災意識向上を目指す ・環境啓発における各社の環境教育コンテンツ実施
(3) 災害時の EV 活用 	災害時に非常用電源として EV 活用 ・ニチコンは所有する EV 及び可搬型給電器 (V2L) を貸与し、避難所等へ電力を提供 ・日産は災害による停電時に非常用電源として日産の販売会社が所有する EV を貸与し避難所等へ電力を提供
(4) その他、協議し必要と認める事項 	

今夏、開所予定の亀岡市環境プロモーションセンターには太陽光発電システムと「トライブリッド蓄電システム[®]」が設置され、EV を活用した啓発活動が予定されています。本施設を拠点に各社が連携し、市民に向け啓発活動を継続的に行うことで地域交流の活性化にも貢献していきます。

亀岡市、ニチコン、日産自動車、京都日産自動車は、本協定締結を機に、EV の活用を通じて脱炭素社会実現に向けた様々な取り組みを行います。ゼロ・エミッション社会の先にある美しい自然環境の保全、クリーンで住みやすい持続可能なまちづくりに向け、共創してまいります。

以上

First Contact Nissan Technology: <https://www3.nissan.co.jp/first-contact-technology.html>

日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」: <https://www3.nissan.co.jp/first-contact-technology/blue-switch.html>

関連情報

ニチコン株式会社: <https://www.nichicon.co.jp/>